

皆さんの
好きなこと
趣味や特技
一芸などを

ご利用者の
笑顔に
活かしませんか？
ボランティア活動への
ご協力をお願いします。

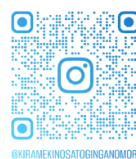
「ボランティア」という言葉をどこかで見たり聞いたりしたことがあるという方は、多くいらっしゃると思います。

「空いた時間を有効に使いたい」「身近な場所で生きがいや楽しみを見つけたい」「趣味や特技を何かに活かしたい」と考えている方、きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜には、その場があります。既に施設でボランティアとしてご協力・ご活躍をいただいている方や団体は多くございます。ぜひ、皆さまの特技や好きなこと、やってみたいことで、ご利用者の笑顔や彩りのある生活づくりのためにご協力をお願いいたします。

また、ボランティアには興味があるけど、「いきなり継続的に行うのはちょっと…」「お試しから始めてみたい」という方も、気軽にボランティア活動を体験することもできます。

【ボランティア活動の一例】

カラオケや合唱、楽器の演奏などの芸能披露
手芸や創作活動のお手伝いや補助
レクや体操のお手伝い
お話しの相手、お散歩の補助
施設内イベントのお手伝い
将棋や囲碁、書道や絵手紙づくりの指導や補助



【左】体操レクの様子
【下】お散歩の様子



ボランティア活動者の声

「ボランティア活動は決して難しいものではありません。入居者の皆さんと同じ時間を楽しみたいや、お話をするのが好きなんです程度の感覚で十分だと思います。私もいつかここでお世話になる時がくるかもしれないですね(笑)。」



少しでも気になった方、やってみようとお考えの方、お気軽にお問い合わせください。
電話：きもべつ喜らめきの郷（0136-33-2711） るすつ銀河の杜（0136-46-2811）

//留寿都村敬老会をライブ配信//



社会福祉協議会の全面的なバックアップで、留寿都村主催の敬老会にライブ参加いたしました。「あの人は〇〇さんだ!」と懐かしむ声も多数聞かれました。会の最後は、現地の方と iPad で直接会話することもできました。ありがとうございました。

百寿のお祝い

全国 100 歳以上の方は約 10 万人



100 歳のお祝いでは村長が自らお祝いに来てくださいました。内閣総理大臣からの表彰状・銀杯・お祝いのプレゼントも頂戴しました。

●AI（人工知能）に聞いてみよう！

問い・「施設の閉塞感」について

AI の回答「施設の閉塞感」という言葉は、高齢者施設などで入居者や職員が感じる「閉じ込められているような感覚」や「外とのつながりが希薄な状態」を指すことが多いです。これは、精神的なストレスや孤独感、モチベーションの低下などにつながる可能性があります。との回答をもらいました。

AI に聞いてみたきっかけは？

今回 AI 人工知能に「施設の閉塞感」について聞いてみました。質問した理由としては、地域住人の方から「施設に面会に行きたいけれど、敷居が高くて・・・。」とお言葉を頂戴したのがきっかけです。9 月は社会福祉協議会の皆さまの働きかけもあり様々な活動で地域の方々と交流することができました。今後も開かれた施設を目指しご入居者・地域の方の満足度が向上するように取り組んで参ります。